

2004 年度(平成 16 年度)

事業報告書

自 2004 年 4 月 1 日

至 2005 年 3 月 31 日

社団法人 企業メセナ協議会

# 1. 啓発・普及事業 (5,399 千円)

## 1.1 セミナー、シンポジウム (1,266 千円)

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
5/14(金)	大阪・ Art Theater dB	「メセナ入門セミナー メセナのニーズを探れ！」 ①「トヨタのメセナ活動 ダンス支援を中心に」 トヨタ自動車広報部社会文化広報室/鈴木なを子氏 ②プレゼンテーション&ディスカッション アートプロデューサー/原久子氏・ Art Theater dB/文氏	会員・ 一般 77名
5/25(火)	東京・ 銀座周辺	フィールド視察「銀座界隈メセナスポット・ツアー」 (協力:リクルート、資生堂、大日本印刷、東京電力、 ポーラ、INAX、ブリヂストン)	会員 7名
6/22(火)	東京・ ニッセイ基礎研究所	「まるごと半日メセナ塾・その2」 ①「メセナ概論」(事務局) ②「日本の芸術支援の概況ほか」 ニッセイ基礎研究所主任研究員/吉本光宏氏 ③「実態調査から見るメセナの動向」(事務局) ④「助成認定制度の取り組みについて」(事務局) ⑤「領域を超えるメディア・アートの活動」 作曲家・メディアワークス主宰/佐藤慶子氏 ⑥「メセナ現場レポート」 第一生命広報部部長・社会文化事業室長/ 市川哲夫氏	会員 29名
7/30(金)	大阪・ グランキューブ大阪	「アートサポートのしくみを知ろう！」 関西二期会常任理事・事務局長/高田 昌氏 東京学芸大学助教授/田中敬文氏 ニッセイ基礎研究所主任研究員/吉本光宏氏	会員・ 一般 95名
9/22(水)	東京・ 国立劇場	フィールド視察 「文楽の舞台裏を知るツアー」 (協力:国立劇場)	会員・ 一般 23名
10/18(月)	東京・ 森美術館	フィールド視察 「東京の中心で現代アートを見る」 (協力:森美術館)	会員 19名
11/12(金)	東京・ 商工会館	「アートの力が地域ブランドをどう変えるか！」 地中美術館館長・(財)直島福武美術館常務理事 ベネッセアートサート直島アーティスティックディレクター /秋元雄史氏・ 美術ジャーナリスト/村田真氏	会員・ 一般 53名
2005年 1/21(金)～ 1/22(土)	岡山・ ベネッセアート サイト直島	フィールド視察 「ベネッセアートサイト直島ツアー」・地中美術館見学会	会員・ 一般 37名

開催日	会場	テーマ・内容	参加者
2/17 (木)	大阪・ 国立国際美術館	フィールド視察 「国立国際美術館」 (協力:国立国際美術館・ダイキン工業現代美術振興財団)	会員・ 一般 34名
2/18 (金)	大阪・府立女性 総合センター ※大阪 21 世紀協 会主催セミナー	「知っておきたい・・・企業メセナと助成認定制度」 日本テレマン協会・事務局長/中原博人氏 住友生命・調査広報部次長/井上小太郎氏 松下電器・コーポレートコミュニケーション本部 メセナチームリーダー/前西繁成氏	会員 一般 約 48 名

## 1.2 全国メセナ組織との交流 (286 千円)

全国メセナネットワーク(加盟 16 団体)の第 9 回全国会議が 9 月 24 日(金)・25 日(土)、福島県喜多方市にてネットワーク加盟団体関係者、各地の自治体および地元関係者、一般市民など約 150 名の参加のもとにアサヒビール、損害保険ジャパン、ワコールの協賛、福島県教育委員会、喜多方市の後援、喜多方シティエフエムの協力を得て開催されました。当協議会からは会員関係者や事務局員など計 6 名が出席しました。

日程	主な内容
9 月 24 日 (金)	<p>○基調講演 「地域文化活性化のための仕組みづくり ～アートがつなぐ市民参加」 熊倉純子氏 (東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科助教授)</p> <p>○パネルディスカッション 「文化資源の再発見による地域づくり」 パネリスト: 冠木紳一郎氏 (若喜商店専務取締役) 後藤 學氏 (喜多方市美術館学芸員) 山田幸江氏 (主婦・たまたま実行委員会役員) 渡邊多聞氏 (喜多方シティエフエム・パーソナリティ)</p> <p>コーディネーター: 志田公司氏 (志田歯科医院・医院長) コメンテーター: 熊倉純子氏 (東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科助教授)</p> <p>○情報交流会</p>
9 月 25 日 (土)	<p>○ネットワーク会議</p> <p>○取り組み内容発表と情報交換会</p>

## 2. 情報集配・仲介事業 (29,498千円)

### 2.1 情報紙の発行 (6,114千円)

ニューズレター『メセナnote』31号～36号を主に次の内容で発行しました。

(敬称略)

号	巻頭・論説	トップインタビュー	いまどきのアート	フォーラム・レポート
31	「創造都市への挑戦」 大阪市立大学大学院教授 佐々木雅幸氏	トヨタ自動車(株) 取締役社長 張 富士夫氏	「活弁ライブがめざすもの」 活動弁士 佐々木亜希子氏	「公立文化施設と 指定管理者制度」 東京大学大学院助教授 小林真理氏
32	「シェークスピア劇の裏わざ」 翻訳家・演劇評論家 松岡和子氏	(株)東京国際フォーラム 代表取締役社長 鳥海巖男氏	「巻上公一・開放された 声帯の宇宙」 P3 art and environment 伊藤 忍氏	TAMスピーチ大会 企業メセナ協議会 特別賞 入選作紹介
33	「なぜNPOに期待するのか」 法政大学教授・ 日本NPOセンター副代表理事 山岡義典氏	(株)みどり会 取締役社長 蛭田政男氏	「アサヒ・アート・フェステ ィバル2004の旅」 ランドスケープ・アーキテクト フォトライター 竹田直樹氏	「メセナ・協働の時代」 (研究部会報告会から) アートスタッフネットワーク 樋口貞幸氏
34	「まちのご縁のつくり方」 作家・谷根千工房主宰 森まゆみ氏	富士ゼロックス(株) 取締役会長 小林陽太郎氏	(メセナアワード2004 受賞活動紹介)	「愛と勇気の文化政策～ ナント市ポナン文化局長 のプロジェクトN」 アートネットワークジャパン 相馬千秋氏
35	「アートNPOが地域の 劇場を生かす」 ふらの演劇工房理事 篠田信子氏	大日本インキ化学工業(株) 代表取締役社長 小江紘司氏	「なぜ学校教育に 現代芸術家なのか」 芸術家と子どもたち 堤 康彦氏	「メセナ活動実態調査の 向こうになにが見えるか」 UJ総合研究所主任研究員 太下義之氏
36	「メセナもう1つの意味」 詩人・作家/ 企業メセナ協議会理事 辻井 喬氏	(株)鈴鹿蒲鉾本店 代表取締役社長 鈴木博昌氏	「協働 [collaboration] ということ」 STスポット横浜 大澤寅雄氏	「ベネッセアートサイト 直島ツアーに参加して」 (花王(株)コーポレートコミュ ニケーション部社会貢献部長) 嶋田実名子氏

## 2.2 システムの活用 (7,911 千円)

### ■ホームページの全面リニューアル

2004年5月より、ホームページ (<http://www.mecenat.or.jp/>) を全面リニューアルし、仕様、デザインを改良したほか、コンテンツの充実をはかりました。会員企業・団体のメセナ活動の紹介、セミナー開催の告知などの情報を積極的に発信しました。

### ■データベース「メセナビ」の作成

アートサポートに関する総合データベース「メセナビ」 (<http://www.mecenavi.info/>) に、本年度の「メセナ活動実態調査」にもとづく企業約400社のデータを掲載しました。

## 2.3 資料収集 (879 千円)

メセナ及び文化・芸術関連情報を収集するため、専門書籍・関連資料の購入、関連学会・シンポジウム等への出席、さまざまなアートイベントへの参加等の活動を行いました。

## 2.4 出版 (6,705 千円)

### (1)メセナ白書シリーズ

シリーズ第2弾として、本年度内に次の書籍を制作しました。

- 書名：『いま、地域メセナがおもしろい 企業+アート+まちの実践』
- 体裁：A5版 272ページ
- 定価：2000円+消費税
- 発行：ダイヤモンド社
- 発売：2005年6月16日(木)

※本件は、企業メセナの実態調査と合わせ、文化庁の「平成16年度文化芸術創造プラン」(新世紀アーツプラン)の芸術団体人材育成支援事業に採択されました。

### (2)セミナーシリーズ

協議会主催セミナー、フォーラムの講演記録などをまとめた小冊子「メセナ・セミナーシリーズ」は、次の号を発行しました。

号数・発行日	内 容
No. 7 1/27 発行	としま文化フォーラム特別講演会 「文化でよみがえるフランスの地方都市ナント市」 講師：ジャン=ルイ・ボナン氏 (ナント市文化局長)

## 2.5 コーディネート事業 (1,660 千円)

会員企業からの要請を受けて、次のコーディネート事業を実施しました。

企業・団体名	業 務 内 容
トヨタ自動車(株)	ネット TAM※ の制作・運営
アサヒビール芸術文化財団	アサヒ・アート・コラボレーションの企画、制作

※ネット TAM = TAM (トヨタ・アートマネジメント講座) に引き続き、アートマネジメント総合情報サイトとして 2004 年 10 月、ネット上でスタート。

### 3. 調査研究事業 (9,361 千円)

#### 3.1 「2004 年度メセナ活動実態調査」の実施 (2,650 千円)

企業によるメセナ活動の実態調査は、調査部会の協力のもとに4月～5月、4,109社を対象に実施し、632社から回答を得ました。

このうち2003年度にメセナを実施した企業は411社で総活動件数は2,560件、1社平均6.2件でした。

活動費総額につき回答のあった351社について、1社当たり活動費は、前年度より256万円減の6,389万円、経年で比較可能な5年連続回答企業の1社当たり活動費は、1億270万円で前年度に比べて大幅な変動はありませんでした。

※ 本調査の結果については『メセナ note 34号』別冊「メセナレポート2004」、協議会ホームページ及びデータベース「メセナビ」に掲載しました。また、11月11日(木)に経団連会館(東京・大手町)にて記者発表会を行うとともに、全国のメディアにプレスリリースを配布しました。

#### 3.2 研究活動 (237 千円)

##### (1) 研究部会 (172 千円)

本年度の研究テーマを「地域文化資源の発見と新たな価値創造」と設定して部会メンバー間で討議を行うとともに、2005年1月13日(木)には、東京大学大学院人文社会系研究科の木下直之教授を招いて「地域社会と文化支援・文化資源」について講義をしていただきました。

##### (2) 実務担当者勉強会(メセナ若手ネットワーク) (65 千円)

会員企業・団体においてメセナ業務を担当する若手スタッフによる勉強会(分科会)を下記のとおり実施しました。

###### ■ 「メセナの評価」

2004年7月21日(水) / 於：資生堂 / 参加者21名

ゲスト：片山正夫氏(セゾン文化財団常務理事)

###### ■ 「美術業界の基礎知識」

2004年11月15日(水) / 於：三菱地所 / 参加者17名

ゲスト：村田真氏(美術ジャーナリスト)

###### ■ 「表現教育とメセナ」

2005年1月17日(月) / 於：トヨタ自動車 / 15名

#### 4. 顕彰事業 (14,331 千円)

##### 4.1 メセナアワード (8,995 千円)

(1) 本年度から、「メセナ大賞部門」と「文化庁長官賞部門」からなる「メセナアワード」に改称して実施しました。

「メセナ大賞部門」には 120 件 (107 団体)、「文化庁長官賞部門」には 46 件 (41 社) の応募があり、大賞部会の協力を得てこれらの調査・取材を行い、2004 年 9 月 6 日 (月) 及び 9 月 17 日 (金) 開催の審査委員会にはかり、次の企業および団体への授賞を決定しました。

##### ■[メセナ大賞部門]

- メセナ大賞 大日本インキ化学工業株式会社  
川村記念美術館の運営
- 現代総合芸術賞 アサヒビール株式会社  
NPO との協働による「アサヒ・アート・フェスティバル」
- 企業理念賞 株式会社希望社  
本社ギャラリーの展示・コンサートなど
- 運営創造賞 財団法人新日鐵文化財団  
紀尾井ホールの運営と公演活動など
- 生活文化賞 株式会社鈴廣蒲鉾本店  
「小さな美術展 かまぼこ板絵国際コンクール」の実施  
※『メセナ note』読者賞も受賞
- 音楽人材育成賞 住友商事株式会社  
ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援
- 映像開拓賞 日本ビクター株式会社  
「東京ビデオフェスティバル」の継続開催
- 児童文化賞 松下電器産業株式会社  
「子供のためのシェイクスピアシリーズ」公演の支援

##### ■[文化庁長官賞部門]

- 文化庁長官賞 株式会社フェリシモ  
「神戸学校」の開催など

(2) 本賞の贈呈式を 12 月 2 日 (木)、東京・青山のスパイラルホールにおいて、報道関係者 35 名を含む 313 名の出席を得て実施しました。

[2004 年度審査委員] (役職名は当時)

池上 惇氏 / 京都橘女子大学文化政策学部長・京都大学名誉教授、柏木博氏 / デザイン評論家・武蔵野美術大学教授、南條史生氏 / 森美術館副館長、松岡和子氏 / 演劇評論家・翻訳家、森まゆみ氏 / 作家・谷根千工房主宰、渡辺 裕氏 / 東京大学大学院教授、福原義春会長・理事長

※前年度委員であった三善晃氏 (作曲家) は、健康上の理由から辞任されました。

(3) なお、この贈呈式に先立ち、選考結果について 9 月 30 日 (木) に東京・銀座にて記者発表会を開催しました。

## 5. 国際交流事業 (712 千円)

### 5.1 各国のメセナ組織との交流

毎年1回、世界のメセナ協議会事務局が集まり、芸術文化支援に関する情報交換を行う「国際ネットワーク会議」は、主催者側の都合により、本年度の開催は中止されました。

## 6. 助成事業 (認定業務費 17,347 千円)

2002年度の対象ジャンル拡大、2003年度の相談窓口の設置、申請手続き等の緩和などにより、申請及び認定件数とともに寄付件数・寄付金額が大幅に増加しました。

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
申請件数	103	92	125	121	121	172	176	151	155	246	276
認定件数	83	80	109	115	111	155	165	146	153	234	256
寄付件数	159	430	661	769	697	752	879	949	835	1,001	1,643
金額(万円)	19,705	31,102	55,590	86,555	44,281	51,566	53,305	57,361	47,679	46,113	64,932
1件当り(万円)	123	72	84	113	64	68	60	60	57	46	40

## 7. その他の活動

### 7.1 講座担当・寄稿依頼等への対応

※事務局対応分のみ

依頼内容	依頼	名称
委員	横浜市都市計画局	都心部歴史的建築物の文化・芸術活用実験事業推進委員会
委員	(特)トリトン・アーツ・ネットワーク	評価委員会
委員	目黒区	芸術文化振興計画策定懇話会
パネリスト	公明党神奈川県本部	神奈川文化フォーラム
アドバイザー	公明党神奈川県本部	文化芸術活動の支援相談会
講師	日本フィルハーモニー協会	首都圏団体地域懇談会
パネリスト	文化経済学会	2004年度研究大会
講師	芸団協	芸団協セミナー2004 ワークショップ
講師	芸団協	芸団協セミナー2004 レクチャー
講師	浜松市アクトシティ音楽院	主催者養成セミナー
企画	京都橘女子大学	文化政策プロフェッショナルセミナー (企業メセナ協議会提携講座)
講師	映画美学校	上映専門家養成講座
講師	(財)地域創造	アートアプローチセミナー
講師	静岡県生活・文化部	文化政策フォーラム
寄稿	交通新聞社	『JRガゼット』
寄稿	芸団協	『芸団協 Journal』

### 7.2 インターンシップ受け入れ

2004年度は下記のインターンシップ研修生を受け入れ、主に事務局内の資料整理、ホームページ更新等の業務を担当していただきました。

派遣元・プログラム名	人数	期間
日産自動車 日産 NPO ラーニング奨学金制度	1名	2004年7/22(木)～2005年3/9(水)
産能短期大学 ビジネス・インターンシップ	1名	2005年2/2(月)～2/13(金)
跡見学園女子大学マネジメント学部	1名	2004年9/7(火)～9/22(水)

上記のほかに個人からの申請のあった4名も受け入れました。

### 7.3 広報活動

#### ■ 記者発表会の開催（2回）

テーマ	開催日	会場	出席者
「メセナ アワード 2004」受賞活動決定	9月30日(木)	東京・ワード資生堂	26名
2004年度「メセナ活動実態調査」結果	11月11日(木)	東京・経団連会館	12名

#### ■ プレスリリースの発行

全国紙・ブロック紙・地方紙・業界紙・雑誌・専門紙誌等を対象に下記のプレスリリースを発信しました。なお、「メセナ アワード 2004」「2004年度メセナ活動実態調査」関連のリリースについては、文部科学記者会においても資料配布を行いました。

内容	発行日
「メセナ アワード 2004」募集告知	4月～5月
研究部会研究報告 「企業メセナの新たな展開 ～アート NPO との連携」	6月22日
「舞台芸術・芸能見本市 2004 大阪」参加プログラム 協議会主催セミナー「アートサポートのしくみを知ろう！」	7月20日
「メセナ アワード 2004」受賞活動決定	9月30日
2004年度「メセナ活動実態調査」結果	11月11日
「メセナ アワード 2005」募集告知	3月31日

### 7.4 主な会議等の開催状況

会議名	回数	会議名	回数
理事会	3回	大賞部会	4回
評議員会	1回	研究部会	4回
通常総会	2回	助成選考委員会	6回
幹事会	8回	大賞審査会	2回
調査部会	4回		

[備考]

2004年度の部会メンバー一覧(敬称略、所属は当時、◎印：部会長)

調査部会	大賞部会	研究部会
高畑芳秋 (朝日新聞社)	◎ 加藤恒夫 (大日本印刷)	◎ 加藤種男 (アサヒビール芸術文化財団)
大場智行 (損保ジャパン美術財団)	朝子正三 (ワコール)	市村作知雄 (アートネットワーク・ジャパン)
齊藤公治 (NEC)	市川哲夫 (第一生命保険)	片山正夫 (セゾン文化財団)
嶋田実名子 (花王)	小林義信 (トヨタ自動車)	佐藤文昭 (松下電器)
中島康夫 (電通)	高辻ひろみ/百武昌夫 (資生堂)	佐藤正明 (ソニー)
	柄田明美 (ニッセイ基礎研究所)	島田京子 (日産自動車)

※ なお、研究部会には、上記のコアメンバーに加えて次の方々にも自主参加いただきました。

岡本純子(セゾン文化財団) / 武安典代(三井物産)

柄田明美(ニッセイ基礎研究所) / 根本ささ奈(アサヒビール) / 福富達夫(セゾン文化財団)

山本勝彦(あいおい損害保険) / 山本真由美(トヨタ自動車) / 吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

2004年度の主な行事一覧

月	日	曜日	行事	月	日	曜日	行事
4	26	月	幹事会①	10	14	木	大賞部会④
					18	月	フィールド視察(森美術館)
					28	木	幹事会⑤/調査部会②
5	14	金	メセナ入門セミナー(大阪)	11	11	木	メセナ活動実態調査記者発表会
	25	火	フィールド視察(銀座)		12	金	公開セミナー
	27	木	研究部会①		15	月	若手ネットワーク分科会②
					25	木	研究部会③
					29	月	幹事会⑥
6	1	火	幹事会②	12	2	木	メセナアワード贈呈式
	4	金	助成選考委員会①		8	水	理事会②・理事評議員合同会議
	9	水	理事会①・総会①		10	金	助成選考委員会④
	22	火	メセナ入門セミナー(東京)		27	火	仕事納め
	23	水	大賞部会①		28~	火	冬季休暇
7	1	木	幹事会③	2005	5	水	仕事始め
	8	木	公開研究会	年	13	木	研究部会④
	15	木	調査部会①	1	17	月	若手ネットワーク分科会③
	21	水	若手ネットワーク分科会①		18	火	文化庁実地検査
	30	金	舞台芸術・芸能見本市(大阪) セミナー		21	金	フィールド視察(直島)
					22	土	
					28	金	幹事会⑦/賀詞交歓会
8	3	火	助成選考委員会②	2	8	火	調査部会③/助成選考委員会⑤
	5・6	木・金	大賞部会②		17	木	フィールド視察「国立国美術館」
	7~	火	夏季休暇		18	金	セミナー(大阪)
	16	月			21	月	幹事会⑧
9	1~3		京都橘女子大学湘南講座		2	水	調査部会④
	6	月	メセナアワード審査会①				
	9	木	幹事会④		14	月	理事会③総会②
	17	金	メセナアワード審査会②	3			
	22	水	フィールド視察(国立劇場)				
	24・25		全国メセナ大会(喜多方)				
	27	月	研究部会②				
	28	火	助成選考委員会③				
	30	木	メセナアワード記者発表会		31		助成選考委員会⑥

以上